

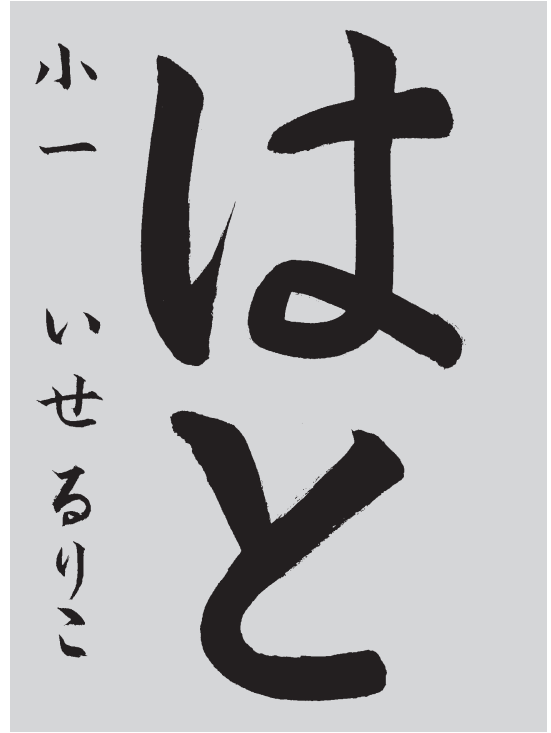
〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



一谷春窓先生

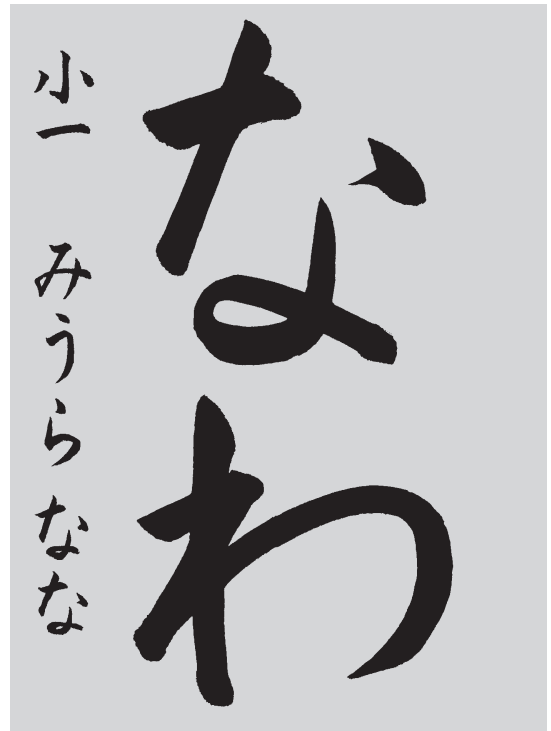
幼・小学1年参考手本



白石和楓先生



千葉蒼玄先生



佐藤菜扇先生

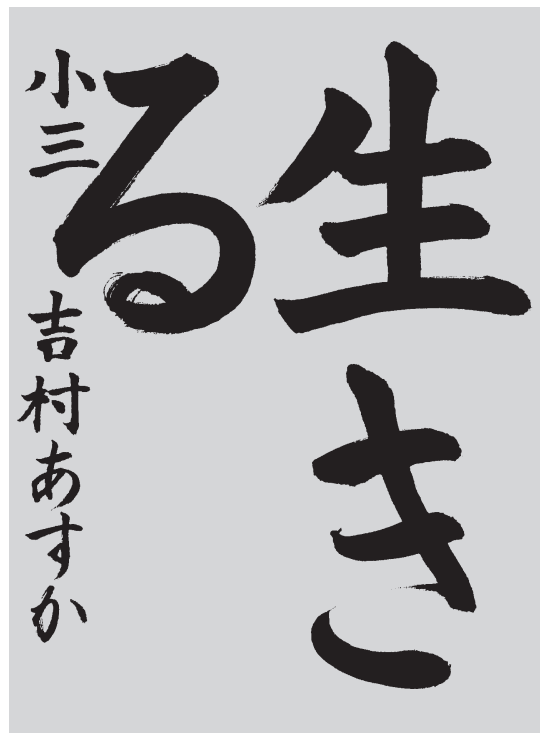
〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本



大野祥雲先生

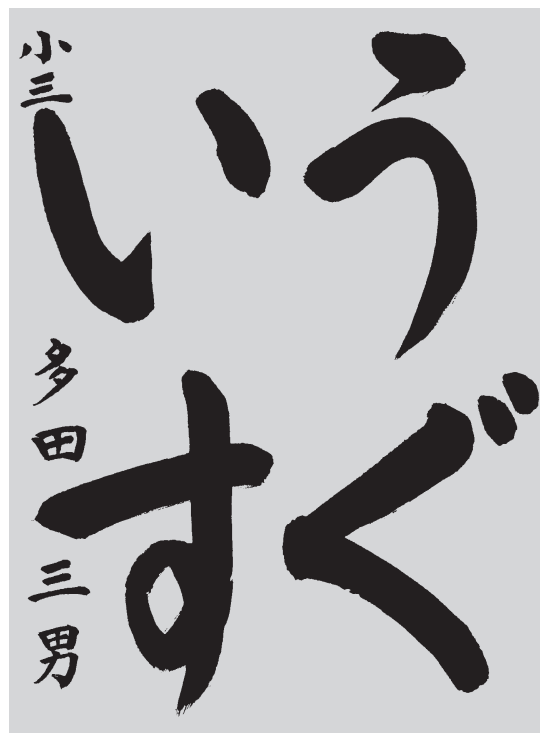
小学3年参考手本



恒次鶴城先生



小林琴水先生



辻元大雲先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本



前田龍雲先生

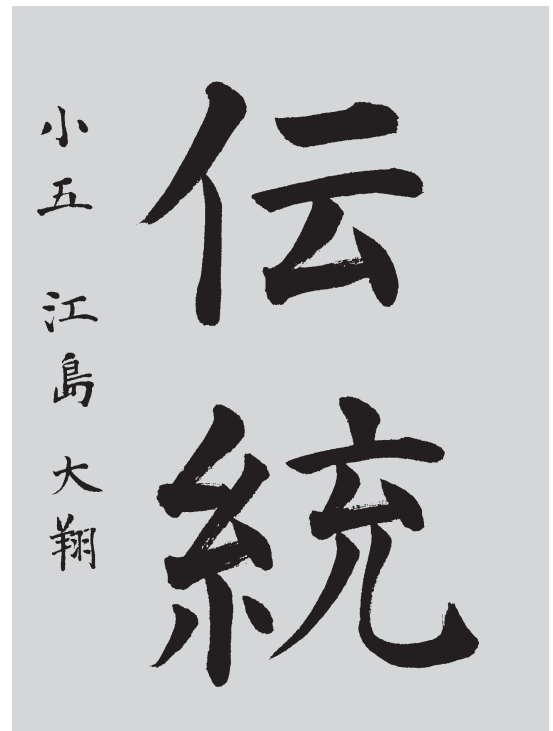
小学5年参考手本



石田春窓先生



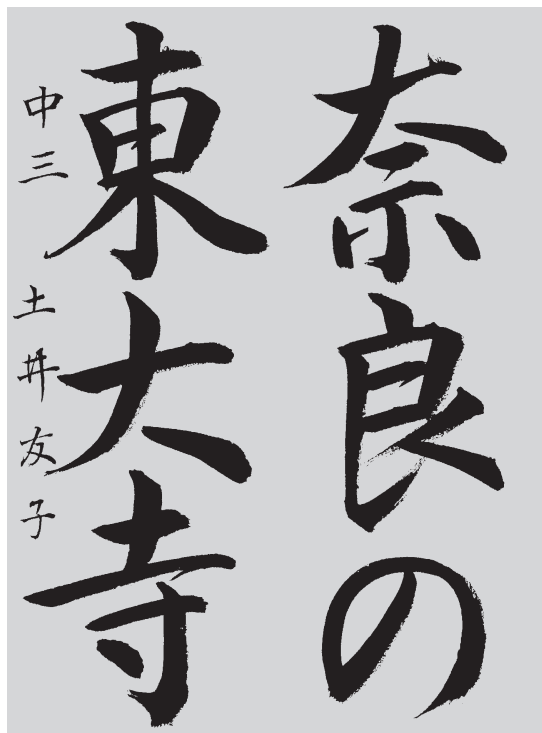
小竹石雲先生



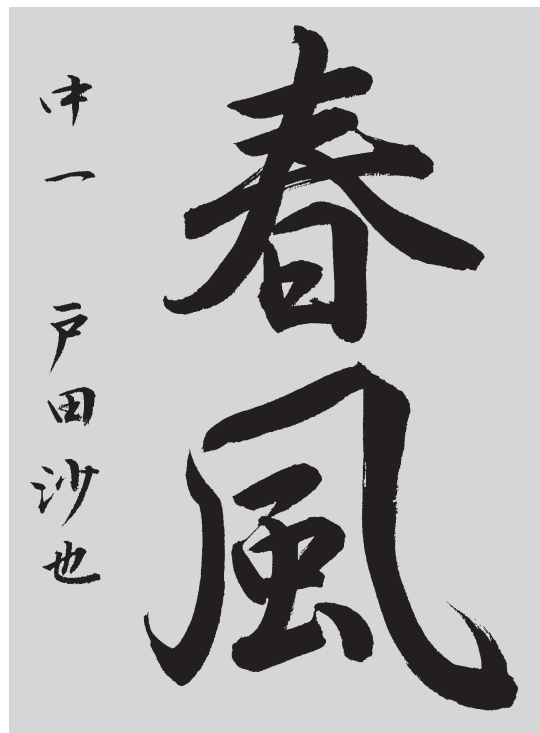
恩地春洋先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

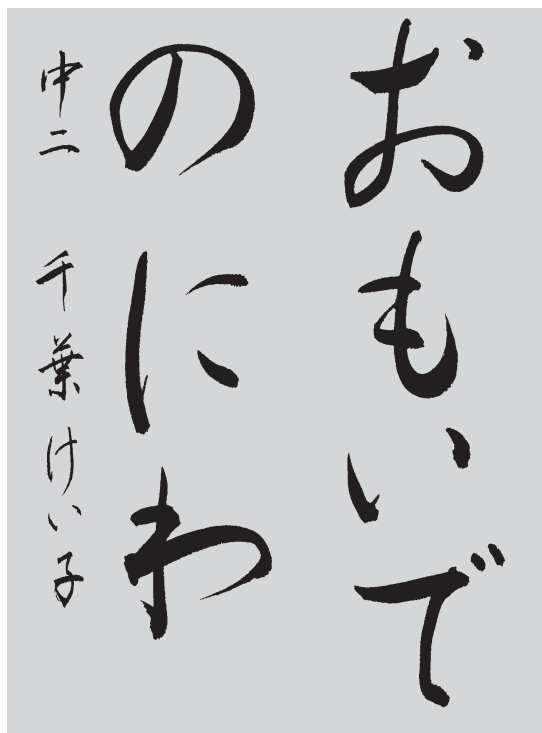
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



小 伏 小 扇 先生



東 福 青 篁 先生



飯 高 和 子 先生



三 浦 鄭 街 先生

〔3月10日締切課題〕

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔3月10日締切課題〕 用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
 ※3月10日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、4月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましょう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用して下さい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(一、二、三、四)と記入。

支 部 名	花	し
だん・きゅう	が	ば
がくねん	さ	ら
一	い	く
なまえ	た。	し
		て
	はがさくら	

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

「花」の字形をただしくかきましよう。

「花」の字形をただしくかきましよう。
 大きくはらう

はらう
 まがり
 とめ
 とめ
 <ひつじゅん>
 一サササ花
 一サササ花

はいるほうこうにちゅうい

>ら
 <ひつじゅん>
 ら

つじけるまゆげでかく

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 3 年

小学 2 年

支 部 名				
	な			
	が	雪		
段・級	れ	ど		
	だ	け		
学 年	し	水		
	ま	が		
名 前	し	谷		
	ま	川		
	した。	に		
	三			
	小野寺歩			

支 部 名				
	ん			
	車	公		
段・級	が	園		
	あ	に		
学 年	り	大		
	ま	き		
名 前	し	な		
	ま	き		
	した。	か		
	二			
	原真之介			

川

三つのたて画の間を同じにする（たて分間）

谷

よこが出る
下が出る

雪

四つの点の書き方に注意

「雪どけ」漢字を正しく書きましよう。

車

よこかくのあいだ
ながく

中心
園

画と画の間にちゅうい

公

左右の「はらい」の長さ
「ム」のいぢ

「きかん車」
「園」の字形をただしく書きましよう。

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小 学 5 年

支 部 名	通	の	式
	語	前	や
	を	で	会
段・級	使	話	議
	い	す	、
学 年	ま	と	多
	す	き	く
	。	は	の
名 前			人
	金	多	の
	子	く	の
	美	の	人
	雪	多	の
		く	の
		の	人

小 学 4 年

支 部 名	な	見	
	こ	学	
	と	す	
段・級	が	る	
	分	と	
学 年	か	、	
	り	い	
	ま	ろ	
名 前	す	い	
		ろ	
	。		

「共通語」
筆順に気をつけて、文字の外形を整えましょう。

中心

式

長さや角度に注意

一筆順

一テエ式式

通

いっただん止めてはらう

じょうずのせる

え（しんにょう）の形に注意

議

戈（ほこづくり）の形と長さに注意

議 議 議 議 議

筆順

筆順

筆順

筆順

「見学」
「へん」と「つくり」の組みあわせに気をつけて書きましょう。

館

とめ

物

ななめの分間とはらいの方向に注意

筆順

ノ、キ、牛、物、物

博

筆順

十、十、十、十、十、十

点の位置に注意

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名				
段・級				
学 年	中一			
名 前	町田 芽生			

への道につながったのです。

遺そうとする人々の努力が世界遺産

故郷の景観を、一途なまでに美しく

支 部 名				
段・級				
学 年	六			
名 前	斉藤 咲子			

ついで説明しました。

税金の基本的な問題に

討論会で、政治家が

「世界遺産」
字の中心がゆがまないように書きましょう。

中心
一途なまでに美しく

※世界遺産を遺す_る

〈簡単な行書〉

三・四・五画 √ つづける
六・七画
九画は、「はらい」を止め・はね

一・二・三画をつづける
終画を止める

「日」の画の接し方注意
十・十一・十二画「小」の字形
の变化

一・二画 √ つづける
十六・十七画

「討論会」
字形を正しく書きましょう。

※一画目の点は二画目にはつけない
点の位置に注意

左右のはらいの長さや角度

〈筆順〉
言 論 論
一 廿 廿 廿 其 基

二つたてて画の始筆の位置に注意
横にあまり広げない

行書を学ぼう

(187)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

晩

晩

大

大

春

春

成

成

器

器

風

風

ひらがなの字源

(187)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

わ	に	の	で	い	も	お	
和	仁	乃	天	以	毛	於	源字
和	仁	乃	天	以	毛	於	字形
わ	に	の	で	い	も	お	

※源字については、異字体から変遷したもの。*印を付して()にその字体を記した。
※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。



4年	活	カツ	シ	汙	汙	汙	活
	馬	バウマ うま	丨	冂	冂	厶	馬 馬
5年	果	カ は・たす は・てる は・て	日	旦	甲	果	
	物	ブツ もの	ノ	厶	牛	牛 物 物	
	伝	デン つた・わる つた・える つた・う	丨	仁	伝	伝	
	統	トウ す・べる	玄	糸	紂	紂 統	
6年	将	ショウ	丨	丨	丨	𠂇 𠂇 将	
	卒	ソツ	一	𠂇	𠂇	𠂇 卒	
	業	ギョウ ゴウ わざ	〃	𠂇	𠂇	𠂇 𠂇 業 業	
	写	シャ うつ・す うつ・る	ノ	冂	冂	写 写	
中学	器	キ うつわ	口	𠂇	𠂇	𠂇 哭 哭 器 器	
	晚	バン	日	𠂇	𠂇	𠂇 𠂇 晚	

漢字に親しもう

36

3月号四年生の硬筆課題の中から「博物館」にスポットを当ててそれぞれの文字の成り立ちを学んでみましょう。

博

おん
くん | ハク・バク

博
博

専(「なえをうるはたけ↓たいらにひろげる」)に、十(「あつめる」を組み合わせた字。ものが、たいらにひろがるようすをあらわす。「ひろい」「ひろがる・ひろめる」などのいみをもつ。



物

おん
くん | ブツ・モツ

物
物

牛(「牛牛」と、(「いろいろなぬのでつくった、ふきながし」)をくみあわせた字。いろいろな毛がまじった牛をあらわし、色がはっきりしないことから、「いろいろなもの」のいみになった。



館

おん
くん | カン

館
館
館

宀(「やくにんがあつまっているところ」と、倉(「たべもの」をくみあわせた字。やくにんがしよくじをする、大きなたべものをあらわす。「大きなたべもの」「やかた」などのいみにつかう。



『博物館』とは、自然物・歴史の資料芸術品などを広く集めて人々に見せる所、ミュージアムと英語風と呼ぶこともある。国立博物館、ラーメン博物館、鉄道博物館、江戸東京博物館、恐竜博物館、自動車博物館などなど全国に沢山あります。是非、自分の興味のある博物館に行って色々な事を学んでみましょう！

編集余録

○第64回全国学生書道展は2月16日から21日まで(18日休館)東京都美術館で開催されます。表彰式は2月17日東京国立博物館で行います。半紙の部と半切りの部の上位入賞者の名前を掲載いたしました。おめでとうございます。今回から書道芸術院展と併催です。指導者の先生方の作品も鑑賞出来ます。一人でも多くの方に来ていただきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。

○数日前、関東でも久しぶりの大雪になりました。雪の降っている時は、しんしんとして色々な雑音も雪で消されて静かになります。風情があつて雪もなかなか良いなあと感じます。ところが朝になって道路や歩道が凍つては危険なので夜のうちに何とか雪かきと思ひ、家族みんなでスコップを持って雪かきです。翌朝は小学生が「おはようございます。」の元気な挨拶で登校してました。

○第50回八街市子供会新春書き初め展の審査をしました。今年で50年、丁度半世紀の行事になりました。私の父が第1回展から関わっていたのでそれを引き継ぎ、市内の小中学校の協力も得て、今回の出品者は千三百人に及びます。「書の普及」という大きな役割をしっかりと果たす事が出来てホツとしています。来年も充実した行事になるよう力を注ぎたいと思ひます。

(鄭街)